

「科学」と「函館」の未来について、市民と学生と一緒に学ぶ3日間

はこだて科学寺子屋 〈集中講座〉



市民公開講座

学生向け単位互換対象科目
「科学技術コミュニケーション入門」

2単位

2014

8/8 (金)

公立はこだて未来大学
494 講義室

9 (土)

東本願寺函館別院
講堂

10:00

17:30

10 (日)

函館市元町 16-15

講師

田柳 恵美子 (公立はこだて未来大学 社会連携センター 教授)

美馬 のゆり (公立はこだて未来大学 情報アーキテクチャ学科 教授)

ゲスト講師



岡田 小枝子

高エネルギー加速器研究機構
広報室報道グループリーダー



鈴木 英悟

函館短期大学
食物栄養学科 専任講師



木村 博之

株式会社チューブグラフィックス
代表取締役

受講料無料

要申し込み
定員30人程度、先着順

学生は各大学・高専事務局まで



6回目を迎える〈はこだて科学寺子屋 集中講座〉のテーマは、

函館 × スポーツ × 健康 = サイエンスコミュニケーション

今年のはこだて国際科学祭のテーマ「健康」にちなんで、すでに20年の歴史を数える函館ハーフマラソンを題材に、函館とスポーツと健康をつなぐコミュニケーションについて議論し、受講者自身が実践プランを考えます。

8/8 (金)

午前 | オリエンテーション+「科学技術コミュニケーション」を知る基礎講座

午後 | 特別講座 ● ビッグサイエンスが発信する科学コミュニケーション

世界最先端の大型研究設備や、大規模な研究組織を通じた研究活動は、いかに社会に発信されているのか——。1日目午後、東大、理研、高エネ研と、日本を代表する研究機関で研究広報の仕事に携わってきた専門家、岡田小枝子さんを講師に、ビッグサイエンスと社会をつなぐコミュニケーションのあり方について議論します。

ゲスト講師 | 岡田 小枝子 (高エネルギー加速器研究機構 広報室報道グループリーダー)

9 (土)

ワークショップ ● 運動生理学・環境共生学の視点から

函館ハーフマラソンの特徴や魅力を関係者の方からご紹介いただくとともに、運動生理学や環境共生学が専門の函館短大・鈴木英悟先生を講師に、「健康の街・はこだて」を市民や観光客に向けて発信するためのアイデアについて議論します。

ゲスト講師 | 鈴木 英悟 (函館短期大学食物栄養学科 専任講師)



10 (日)

ワークショップ ● インフォグラフィックスの視点から

「インフォグラフィックス」という、図解やイラストを使ったコミュニケーション技法の第一人者を講師に、函館の街を走るマラソンの魅力、函館マラソンを走るうえで有用な科学知識などを、目で見て分かりやすくコミュニケーションするアイデアを考えます。

ゲスト講師 | 木村 博之 (株式会社チューブグラフィックス代表取締役)

学生用
問い合わせ
申し込み先

キャンパス・コンソーシアム函館 単位互換制度対象科目

主管校：
公立はこだて未来大学

はこだて科学寺子屋〈集中講座〉は、社会人・一般市民向けの公開講座であると同時に、キャンパス・コンソーシアム函館 単位互換制度対象科目「科学技術コミュニケーション入門」(2単位)として開講されます。単位認定には必要な条件を満たしていただく必要があります。単位互換制度を利用した場合の申し込み締切は所属校によって異なります。

※各大学・高専事務局までお問い合わせください

一般用
問い合わせ
申し込み先

サイエンス・サポート函館事務局 (担当: 金森)

〒041-8655 函館市亀田中野町116-2 公立はこだて未来大学内

Mail info@sceiencefestival.jp

Tel 0138-34-6527

URL http://www.sciencefestival.jp/